

東村山・生活者ネットワーク 市議会議員 白石えつ子 6月東村山市議会報告



障がいがあっても
なくても
地域で共に暮らす



はじめの一步
カレンダー
Facebook
QRコード

5/8 身近な環境に配慮した再生可能エネルギーの水力発電所を見学。東京都交通局運営の奥多摩町にある第一、三水力発電所、白丸調整池、再生可能エネルギー白丸エコアピール館を見学。発電された電力は、都電荒川線等に使用されています。



5/13 都立あきる野学園(小学部・中学部・高等部)を岩永都議をはじめ、ネット議員と共に見学。身体棟と知的棟が並び合う全国でも珍しい特別支援学校です。教員が自宅訪問する在宅訪問学級で学ぶ児童・生徒もいます。多種多様な障害に対する個別最適な学ぶ環境が用意されています。



萩山公園整備工事請負契約の議案 全会一致で可決。防災機能とインクルーシブ遊具付きの萩山公園誕生

一般質問より
多様な子ども達が学び合い、
社会的な自立につながるために

「東京都教育ビジョン」に於ける「誰一人取り残さないきめ細かな教育の充実」について、子どもを持つ権利の保障と個別最適な学びにつなげるため、現状と今後について質問した。

● その中で、ASD、ADHD等の発達障害を持つ児童生徒数は、増加傾向にある中、数字はおさえておらず、個別支援計画づくり等に支障をきたすことを指摘した。

● 希望学級に通う児童の支援計画について、その内容を本人・保護者とは共有できていないことも課題で、子どもの意思の尊重や情報共有が必要である。

● 共生社会の実現には多様性・包摂性が大事で、障害を受容し、保護者の悩みにも共感することの重要性を強調した。

補正予算より

令和6年度一般会計補正予算(第1号)・特別会計(介護保険・国民健康保険・後期高齢者医療)は、賛成多数で可決。

● 東村山市会計年度任用職員の給与条例改正に伴い、勤労手当を支給するため、一般会計から総額1億3026万4千円計上した。

● 無償貸借の花さき保育園の貸付期間満了に伴い、市へ2474万円が返還された。

● 保育園の建物を活かし保育園として使用可能か否かの質疑では、新たな待機児解消の候補地は秋津町を考えており、令和8年度保育園開設の準備を進めている。久米川東字童くらの借用地が地権者から返還を求められており、児童の用地取得を優先し、花さき保育園用地の売り払いの判断をした。

● 子ども同士が関わる中で、それぞれの成長を育むことを目的とした、未就園児預かり事業の開始。

● 保護者の就労等の有無によらず、保育所や幼稚園等を利用していない2歳以下の子ども達を対象に、幼稚園等で継続的に預かる事業を実施。利用者負担軽減110人、多子世帯は無償380人、障害児80人を見込み、予算を計上。デジタルワンストップサービスなども活用し、情報周知に努めていく。

● 課題として、新たな事業展開を評価するも、保育士不足と待遇改善が解決されない中で、打開策として公の役割を今後も求めていく。

● 身体や環境にやさしい石けんを使おう!!

生活クラブ運動グループ・東村山地域協議会では、全国展開する「せっけん運動ネットワーク」と連携し、シャボン玉月間の7月に、人や自然にやさしい石けんの利用を呼びかける活動をしています。

その一環として、毎年市長懇談を実施し、石けん利用をすすめる市長メッセージを受け取り、その利用が広がるよう話し合いを続けています。

この活動により、市は1993年に他市に



石けんと合成洗剤の違いを知ってもらうために絵本をプレゼント。

先駆けいち早く、学校給食の現場で食器洗浄に石けん使用開始。2008年の市民による石けん使用調査から、2010年には小学校の手洗いのみが石けんに切り替えられた。2000年に環境省が定めた環境負荷の少ないものを購入する「グリーン購入法」の対象として石けんを推奨していたが、各施設の購入担当者が替わり、合成洗剤に切り替わっている現状がある。懇談のたびに石けんの一括購入を要望してきたが、昨年から30年来の活動が実を結び、市庁舎内が石けんに切り替わった。



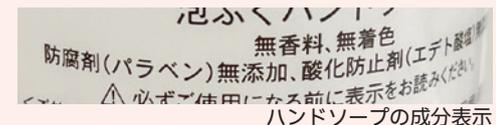
石けんに切り替わった市庁舎内

▶ 今後取り組むべき課題は…

学校給食当番で使用した給食着を持ち帰り、洗濯で使用した合成洗剤や柔軟剤の

香害により化学物質過敏症を発症することもあり、社会問題になっている。

▶ 6/27の懇談では、小中学校や保育園、その他の公共施設の洗剤使用状況の調査を依頼すると共に、実態を把握し、身体や環境にやさしい石けんへの切り替えを進めていくことを確認した。



▶ なぜせっけん？せっけんと合成洗剤の違いは…

洗剤には昔ながらのせっけんと合成洗剤の2種類があります。合成洗剤は第一次世界大戦中に石けんの原料である天然油脂が不足し、石油を精製するときに出る廃棄物から作られたのが始まりです。天然原料をうたう合成洗剤でも分解に時間のかかるものが多く、また、人の健康や水生生物への様々な影響が心配されます。5千年も前から人の暮らしと共にあるせっけんは分解性に優れ、人の健康や自然環境にも悪影響を及ぼさない優れた洗浄剤です。(せっけん運動ネットワークHPより一部抜粋) <http://sekkennet.org/>